

武豊町議会 中部電力(株)武豊火力発電所5号機建設現場

武豊町発展のために貢献している町内企業の事業内容を、町議会として知っておく必要があると考え、町内企業の視察を行っています。

9月11日に、現在建設中の、中部電力(株)武豊火力発電所5号機および衣浦1号地最終処分場の工事現場を視察しました。

最初に、会議室にて、パワーポイントで建設工事の行程や工事状況・工事工法・工事に伴う環境対策について説明を受けました。

視察では、あいにくの雨のため、バスからの視察となりましたが、騒音・振動対策の巨大な防音壁、低騒音・低振動杭打機や独自に防音シートを巻いた



▲ 中部電力(株)武豊火力発電所視察風景

杭打機。粉じん対策では、防塵シート設置や構内道路の常時散水・運搬車両のタイヤ洗浄プール・泥落とし装置など、地域住民への気遣いが伝わってきました。

現在、本工事着工より約半年、工事進捗率は約3%程度ですが、2022年の供用開始に向け順調に進んでいました。

武豊町議会 知多太陽光発電所・知多エッグGPセンター

去る7月4日町内にある知多太陽光発電所・(株)キナンと(有)知多エッグGPセンターの2社を視察しました。詳細については以下の通りです。

知多太陽光発電所(株)キナン

武豊町北部の高台に広がる土地20万㎡に太陽光パネルが設置されていました。

一般家庭で約4000世帯分、パネル数約5・6万枚の見渡す限りのパネルは見事な風景でした。

山を削ったパネル設置であるので、雨水対策用の遊水池を設けたり、野鳥による被害の対策に配慮しています。

知多エッグGPセンター

武豊町北部の常滑市に近い所に、(有)知多エッグがあり、この一角に畜産クラスター計画により建設されました。

知多エッグでは現在35万羽を養鶏し43万羽まで増や

す予定です。

GPセンターでは自社鶏卵以外に、知多半島にある採卵業者も希望により受入れ、輸送コスト削減を図る事ができます。

鶏の飼育から採卵、パック詰め、出荷まで一貫体制を整え、農林水産省の推奨する、農場HACCPの認証を取得し、生産性向上、適切な飼養衛生管理を実行しています。

29万個の卵を毎日出荷し、安心・安全で、おいしい卵をできる限り早く食べていただけるよう努めています。



▲ 知多エッグGPセンター視察風景

建設経済委員会 防災公園の整備手法・合葬墓(樹木葬)の運営

7月18日 神奈川県厚木市「ぼっさいの丘公園」
7月19日 静岡県吉田町「防災公園・北オアシスパーク」

野菜茶業研究所跡地に防災機能を備えた総合公園を整備することから、先進機能を備えた防災公園を視察しました。

両施設とも管理棟のほか、マンホールトイレや備蓄倉庫、耐震性貯水槽を備えており、施設管理は外部へ委託しています。

年間の維持管理費や来場者の推移、想定避難者数に対するトイレや備蓄品の数量設定の考え方などを学び、町が進める公園整備構想にも大変役立つものとなりました。

7月19日 愛知県長久手市「卯塚墓園」

少子化、核家族化などで近年話題となっている合葬墓(樹木葬)について、県内で唯一の公共墓園樹木葬

を視察しました。

市外からの申し込みを可能にしたことから、申し込みが急増しており、新たな整備計画もされています。

使用料設定の根拠や市民の反響、事前に利用者に説明する使用ルールやメリット・デメリットなどを管理者からヒアリングし、武豊町やすらぎの森墓園の今後のあり方に、大変参考となる視察となりました。



▲ 愛知県長久手市「卯塚墓園」

議会だより特別委員会 兵庫県播磨町議会が視察のため来庁

7月11日に兵庫県播磨町議会より議会広報公聴常任委員会のみなさんが来庁されました。

事前にはいただいていた質問をもとに、本町の特徴である「翌月15日発行(12月議会を除く)」までのスケジュールを中心に、紙面割りや担当割り、校正回数、フルカラー印刷での予算などについて説明しました。

続いて、より多くの方に読んでいただく工夫として、表紙の写真には内容に関連するものを選定していることやトピックス、住民の声、Q&Aなどについて。読みやすさについては、字の大きさやフォント、色などができる限りユニバーサルデザインを取り入れている

ことなどを、お話をさせていただきました。

播磨町の皆さまは前日に東京都で開催された「町村議会クリニック」の研修に参加されていたので、内容について情報をいただき、よい情報交換を行うことができました。



▲ 兵庫県播磨町議会視察風景